

## 特集2

### バランスシートと行政コスト計算書

# 町の 資産と負債 はいくら？

バランスシートを見てみましょう

バランスシートは会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源で賄ってきたのかを一目で分かるようにしたものです。左側の借方に資産を表示し、右側の貸方に負債および負債と資産の差額である正味資産を計上しています。まず始めに左側の資産の部を見てみますと、平成20年度末現在、町の資産総額は約568億円となっています。その内訳としては、土地や建物などの有形固定資産が約485億円で最も多く、85.5%を占めています。平成20年度末現在の人口36,252人で除した町民1人当たりの資産額は、約157万円となりました。

この資産の大部分を占める有形固定資産の内訳を見てみると、社会資本整備に関する土木費と学校などの教育施設に関する教育費の割合が大きいことがわかります。平成20年度では、道の駅整備、区画整理事業、幸田小学校舎増築、給食センター建設などにより、有形固定資産全体で約7億円の増額となりました。

幸田町では、行政活動の積み重ねによる資産や負債のストック情報など、従来から作成している歳入歳出決算書などとは違った視点で、幸田町の財政状況を町民の皆さんに理解していただくための一つの手法として、普通会計を対象にバランスシート(貸借対照表)と行政コスト(損益)計算書を毎年作成しています。今回は平成20年度決算に基づくバランスシートと行政コスト計算書を作成しましたので、その概要についてお知らせします。

次に、負債の部を見てみると、今までに施設などを建設した時に借りた地方債の残額と職員の退職給与引当金などが計上されています。平成20年度末現在での本町の負債総額は約112億円で前年度に比べ約5億円増加し、町民1人当たり約31万円となりました。これは、経済危機による財源不足を補うために、地方債の新規借入れが増加したことによるものです。借金の返済については、長期にわたり返済する地方債(平成22年度以降の残金)は約72億円で、翌年度(平成21年度)に返済すべき地方債の償還金は約12億円となっています。

最後に、正味資産の部については、バランスシートの借方に計上されている資産のうち、これまでの世代が既に負担し、後世代が実質的に受け継ぐ正味価値であり、この資産が多いほど次の世代への負担が少ないといえます。本町の正味資産総額は約456億円となっています。

### 幸田町普通会計バランスシート

(単位：千円)

借方		貸方			
項目名	平成20年度末	平成19年度末	項目名	平成20年度末	平成19年度末
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
1. 有形固定資産	48,518,752	47,842,073	1. 固定負債	9,953,106	9,462,035
(1) 総務費	2,307,036	2,359,849	(1) 地方債	7,157,121	6,662,593
(2) 民生費	3,362,008	3,468,811	(2) 債務負担行為	0	0
(3) 衛生費	830,930	869,916	(3) 退職給与引当金	2,795,985	2,799,442
(4) 労働費	127,484	90,743	2. 流動負債	1,243,371	1,259,096
(5) 農林水産業費	2,260,068	2,206,490	(1) 翌年度償還予定額	1,243,371	1,259,096
(6) 商工費	401,747	408,716	(2) 翌年度繰上充用金	0	0
(7) 土木費	16,854,811	16,702,608	負債合計	11,196,477	10,721,131
(8) 消防費	1,771,338	1,782,283	<b>【正味資産の部】</b>		
(9) 教育費	20,585,902	19,934,234	1. 正味資産	45,561,134	43,791,016
(10) その他	17,428	18,423	(1) 国庫支出金	3,400,960	3,276,288
2. 投資等	4,671,600	4,319,737	(2) 都道府県支出金	2,388,066	2,445,334
(1) 投資及び出資金	15,079	12,879	(3) 一般財源等	39,772,108	38,069,394
(2) 貸付金	90,500	90,500	正味資産合計	45,561,134	43,791,016
(3) 基金	3,459,201	3,069,399	負債・正味資産合計	56,757,611	54,512,147
(4) 退職手当組合積立金	1,106,820	1,146,959			
3. 流動資産	3,567,259	2,350,337			
(1) 現金・預金	2,755,440	2,187,318			
(2) 未収金	811,819	163,019			
資産合計	56,757,611	54,512,147			
※ 債務負担行為に関する情報			①物件の購入等に係るもの	0	300,000
			②債務保証又は損失補償に係るもの	0	0
			③利子補給等に係るもの	0	4,129

## 行政コスト計算書を見てみましょう

行政コスト計算書は、町民の皆さんに対する、さまざまな行政サービスを行ったコストに着目し、年間の行政活動の実績に関する情報を明らかにしたものです。コストの目的別に「人にかかるコスト」「物にかかるコスト」「移転支出的なコスト」「その他にかかるコスト」の4つに分類されています。

平成20年度決算における行政コストの総額は約107億円で、町民1人当たりのコストは約30万円となりました。表を見ると、移転支出的なコストが最も大きく38・4%を占めています。この移転支出的なコストは、高齢者や子ども、障害者への手当などの扶助費や町から他団体への補助金、負担金といったものが主な内容となっており、平成20年度では子ども医療費の無料化の対象拡大や後期高齢者医療特別会計への繰出金の発生などにより、前年度に比べ約2億円の増額となりました。

## 新地方公会計制度改革への取り組みについて

平成18年6月に成立した「行政改革推進法」を契機に、地方の資産・債務改革の一環として「新地方公会計制度の整備」が位置付けられました。現在、各自治体では、この新地方公会計制度に基づく財務諸表の作成・公表が進められています。本町においても、平成21年度決算分より、新たな方式（総務省基準モデル）に基づく財務諸表を作成・公表していく予定です。今後も、より一層町民の皆さんにとって、分かりやすく、正確な財務状況の情報提供に努めていきます。

問合せ 監査委員事務局（内線350・351）

## 幸田町行政コスト計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：千円）（括弧内数値は、町民一人当たりの金額（単位：円））

行政コスト			収入項目		
行政コスト合計	10,668,881	(294,298)	収入合計	12,042,911	(332,200)
人にかかるコスト	2,824,648	(77,917)	1 使用料・手数料等	670,994	(18,509)
(1) 人件費	2,564,739	(70,748)	2 国庫（県）支出金	758,408	(20,920)
(2) 退職給与引当金繰入等	259,909	(7,170)	3 一般財源	10,613,509	(292,770)
物にかかるコスト	3,429,370	(94,598)	正味資産国庫（県）支出金償却額	328,684	(9,067)
(1) 物件費	1,749,717	(48,265)			
(2) 維持補修費	191,845	(5,292)			
(3) 減価償却費	1,487,808	(41,041)			
移転支出的なコスト	4,095,662	(112,978)			
(1) 扶助費	1,053,691	(29,066)			
(2) 補助費等	1,154,112	(31,836)			
(3) 繰出金	1,375,145	(37,933)			
(4) 普通建設事業費 （他団体等への補助金等）	512,714	(14,143)			
その他にかかるコスト	319,201	(8,805)			
(1) 災害復旧事業費	142,595	(3,933)			
(2) 公債費（利子分のみ）	170,950	(4,716)			
(3) 不納欠損額	5,656	(156)			
一般財源等増減額（正味資産）	1,702,714	(46,969)			
合 計	12,371,595	(341,267)	合 計	12,371,595	(341,267)

（人口：平成21年3月31日現在 36,252人）